

附属新潟中学校校歌

(三部合唱)

金子彦二郎 作詞
中田喜直 作曲

♩ = 104 位

こつぎうれんざんほがらにあけて
ゆたけきみのりのしるしのゆきの

あけて
ゆきの

あせさいひのまげさすくときわがおか
むねはりすすまんまなびのみち

あか
むねはりすすまんまなびのみち

あか
むねはりすすまんまなびのみち

ころしじかのくにばらめじはるばるとく
ろつかにむすべらちかいかた

註 は軽くアクセントをつける感して

歌 詞

金子彦二郎 作詞

- 一、新生日本に
港市はあれど
歐羅をつらぬる
直路はこころ
浪路の白駒
巖立てて日ごと
山なす親荷の
千船ぞつどろ
文化の船つき
わが新潟市
朝日に明けて
- 二、国境越山
朝日の先ずさす
常磐が丘に
越後の國原
日陰はるばると
伊夜日子飯盛の
遠見をすれば
明るく広らの
心意ははずむ
- 三、雪の音響かす
久遠に奏する
いみじき樂をば
流れて息まざる
信濃と阿賀の
学ばんわれら
吉光の雪の
われらの徽章
- 四、雪けき実りの
清純潔白
六花に結べる
背を伸べ北斗の
胸張り進まん
星座を仰ぎ
学びの道に
- 砂丘の松と
日本海の
伴奏曲に
信濃と阿賀の
学ばんわれら
吉光の雪の
われらの徽章